

遠慶

おんきょう



新潟教区報 第111号

2015(平成27)年8月31日発行

寺院めぐり 地藏堂組 勝敬寺

寛永山 勝敬寺

当寺の開基については、信州水内郡高坂村の生まれの僧栄玄が、当村に来て布教をしたことに始まるといわれています。現在の本堂は二二三年ほど前に建てられました。本堂の正面には「徹照無碍」の額がかけてあります。

筆者は「幕末の三舟」と呼ばれた高橋泥舟です。おそらく勝敬寺に滞在したときに当時の住職が願ひ書いて頂いた書であると思います。私の煩惱の闇を貫いて照らしてくださり、さまざまのない阿弥陀様の智慧の光りを頂き、伝えたいと願った当時の住職の思いです。その思いを少しでもいただき多くの人に伝えていきたいと思ひます。

常例法座・婦人会・子ども会の活動を中心にたくさんの人々に助けられて開催しています。お近くに來られましたら訪ねてください。

住所 〒九五九〇一二四 新潟県燕市五千石三二五三

寺院めぐりのコーナーでは、教区内の各ご寺院のご紹介をさせていただきます。ご寺院の沿革や由緒、力を入れて取り組んでいる事などを教えてください。ご協力、よろしく願ひします。

編集/浄土真宗本願寺派

「御同朋の社会をめざす運動」新潟教区委員会 広報部会

発行者/新潟教区教務所長 野村宗雄

〒940-2402

新潟県長岡市与板町与板乙4356本願寺新潟別院内

Tel: 0258-72-2120 Fax: 0258-72-2536

別院・教区ホームページが
移転いたしました。
新ホームページアドレスは
<http://nkyouku.jimdo.com/>
です。

本願寺新潟別院 御取越報恩講・帰敬式

平成二十七年六月二十五日(木)～二十七日(土)

今年も御取越報恩講が厳修され、大勢の方に御参拝いただき、谷間徹誠師の御法話を聴聞いたしました。

本年からの新しい試みとして、大谷派三条別院との相互参拝並びに御伝鈔拝読に際し御絵伝とその解説をスクリーンにて表示いたしました。

二十六日御建夜法要後には子ども報恩講が行われ、延べ百人以上の子どもたちが別院を訪れました。

二十七日には報恩講では初めての帰敬式が行われ、三十四名の方がおかみそりを受け、法名を拝受いたしました。



帰敬式を受式された皆様



報恩講の様子



子ども報恩講の様子

帰敬式受式者の声

帰敬文を読まれた



与板組 明元寺
高木正一さん

法名釋帰信を拝受いたしました。帰敬文は普段の言葉とは違い、難しい表現であり緊張いたしました。式は厳粛のうちに行われ、心静まる感じを受け、有難く感じました。

代表で法名を拝受された



三条組 長念寺
久保田敏也さん

法名釋普念を拝受いたしました。この歳になって貴重な体験をさせていただきました。法名は大切なものであると感じました。これからまた浄土真宗を勉強していきたいと思えます。

総局巡回を終えて

平成二十七年七月二日(木)
新潟組組長 円満寺 川井 善樹

去る七月二日午後一時半より、本願寺新潟別院本堂に於いて、宗門総合振興計画にかかる総局巡回が開催されました。宗派からは、藤野堯文総務、武野公昭副総務、内藤教行聞法会館部長、中井真人所務部課長が御出向になられ、真宗宗歌、野村宗雄教務所長の挨拶、御一行の紹介、総局挨拶の後、今年六月から開始された三期・十年の宗門総合振興計画の説明が行われました。

この度の宗門総合振興計画では、基本方針として、

「仏教の精神に基づく社会貢献」

「自他ともに心豊かに生きる生活の実践」

「宗門の基盤づくり」

の三点を挙げ、伝灯奉告法要並びに親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要の修行と記念事業の推進をはじめ、総予算二百億円を計画しており、その内僧侶懇志十四億円、門徒懇志は百四十七億円を予定しているとの説明でした。

説明後、質疑応答となり、この度の宗門総合振興計画に関することや、宗教法人の厚生年金加入のこと、門徒減少による護持口数の問題等様々な質問や意見が出されました。

私個人としては、既成仏教離れと言われる昨今、宗派はより一層寺院や門徒の声を聴かなければならないのではないかと思うところです。



総局巡回の様子

新潟教区活動報告(2015年6月後半～2015年8月前半)

6月	
14日(日)	門徒推進員連絡協議会総会『御同朋の社会をめざす運動(実践運動)への取り組みについて』(24名参加) 講 師：上原 大信 氏(重点プロジェクト推進室賛事) 「御同朋の社会をめざす運動(実践運動)の総合基本計画・重点プロジェクトの策定について」という基本的なお話をいただき、全体協議会で意見交換・質疑応答をしました。
19日(金)	寺院女性会研修総会『「過去帳又はこれに類する帳簿」の取り扱いに関する取り組み』(24名参加) 講 師：麻田 秀潤 氏(本願寺派布教使・新潟教区元上組極楽寺) 「鶴瓶の家族に乾杯」における「過去帳」開示問題から、「過去帳またはこれに類する帳簿」の取扱基準、取扱いについて差別につながる問題点を学びました。
25日(木)～27日(土)	新潟別院御取越報恩講・子ども報恩講・帰敬式(200名参拝・子ども報恩講100名参拝・帰敬式34名受式) 講 師：谷間 徹誠 氏(本願寺派布教使・石川教区江南組光栄寺) 今年度は、例年開催の子ども報恩講の他、帰敬式が実施されました。詳細は2ページをご覧ください。
29日(月)～30日(火)	第1ブロック少年連盟指導者研修会(長野教区担当・教区内参加者2名) 講 師 谷口 向寛 氏(長野教区川越組明圓寺・NPO法人あんしん寺代表) 研修会「実演」ではウォークラリー(宝さがし)で少年連盟活動を体験し、「講義」では不登校やひきこもり、家庭内問題の支援活動のお話を聞きました。
7月	
2日(木)	総局巡回(49名出席) 宗門総合振興計画にかかる総局巡回が開催されました。詳細は2ページをご覧ください。
4日(土)～5日(日)	第2ブロックまことの保育大学講座『すべてがわたしを生かしている～つながり・縁起～』(国府教区担当・教区内参加者10名) 講 師 基調講演：バイマー・ヤンジン 氏(拓殖大学客員教授・チベット出身) 講 義：藤島 秀恵 氏(富山教区婦負西組勝福寺・リンデ幼稚園園長) 基調講演では、中国・チベットで育ったご自身の体験を交え、民族差別や貧富の差、教育の重要性をお話いただきました。講義では、昨今の全員1位・全員主役といった全体主義の矛盾や、お互いが不完全である事を認め、1人ひとりの個性を尊重していく大切さについてお話いただきました。
9日(木)	常例布教(10名参拝) 講 師：鈴木 寿昭 氏(本願寺派布教使・東北教区山形組明善寺)
9日(木)	第1連区議長・所長連絡協議会(国府教区担当・3名出席) 第1連区各教区より提出のあった協議事項に基づき協議がなされ、課題を共有いたしました。
25日(土)～26日(日)	第30回まことの保育 全国保育大会『すべてがわたしを生かしている～つながり・縁起～』(北海道教区担当・教区内参加者5名) ご門主様ご臨席のもと、全国から約700名が集まり、朗読劇や歌と踊りの実技講習、まことの保育についての学びを深めました。分科会では原発問題や戦後70年・差別問題等様々なテーマについての講義・講演が行われました。
29日(水)	仏事・勤式研修会『葬送儀礼の意義を問い直す～【ごえんvol.4いのちと死をみつめて】から学ぶ～』(29名参加) 講 師：岡崎 秀麿 氏(本願寺派総合研究所研究員) ごえん冊子から葬送儀礼の本来の意義について、現在の状況をふまえた講義があり、その後全体協議会が行われました。参加者からは、儀礼そのものの意義をもっと詳細にしたものを、という要望がありました。
30日(木)～31日(金)	裏磐梯サマーキャンプ(震災支援を続ける会によるボランティア活動・教区内参加者7名) 裏磐梯のキャンプ場にて、54名の子どもたちが参加し、震災復興支援のサマーキャンプが行われました。
8月	
4日(火)～6日(木)	全国高校生「平和を学ぶ集い」in沖繩『ヌチデーウタカラ(命どう宝)』(教区内参加者2名) 講 師：釈 徹宗 氏(相愛大学教授) 全国各地より高校生が沖繩に集い、フィールドワークや講義を通して、平和やいのちの大切さについて学びました。
5日(水)～6日(木)	仙台別院納涼夏まつりにかかるボランティア活動(教区内参加者8名) 東日本大震災復興支援活動として、仙台別院にて炊出し等のボランティア活動に出向しました。 詳細は次回の教区報にて掲載いたします。

法話 ⑤ 元上組 極楽寺 麻田 秀潤

この身は、いまは、としきはまりて候へば、さだめてさきだちて往生し候はんずれば、浄土にてかならずかならずまぢまぢみらせ候ふべし。

親鸞聖人のお手紙(御消息)の結びの部分のお言葉です。先年、親鸞聖人七五〇回大遠忌法要に際してお勤めされました「宗祖讃仰作法音楽法要」にこの御文が依用され、「お浄土で、あなたを必ず必ずお待ちしています」という聖人の温かいお言葉は、参詣された多くの人々に深い感動を与えました。

親鸞聖人のこのお手紙のお心をいただきますと、「お念仏を申しても、決して真実のお浄土には生まれぬ」という誤った主張に不安を覚え、「お念仏を申してもお浄土に参れないのでしょうか」というご門弟からの問い合わせにお答えになられたもののようにです。

その不安に対して聖人は、「阿弥陀如来のご本願は、南無阿弥陀仏の名号を称える人を極楽へ迎えるとお誓いくださいました。そのご本願を深く信じてお念仏申すことは大変すばらしいことです」とお答えになられ、共にお念仏する仲間として「お浄土でお待ちします」とお伝えされたのです。

『歎異抄』にも「本願を信じ念仏を申さば仏に成る」と示されていますように、お浄土参りの前提である「本願を信じ念仏申す」ことを忘れてはなりません。それは「正定聚」といわれる人生ですし、人びとと共に歩む「御同朋・御同行」という生き方に他なりません。そこを忘れて語られる「お浄土」はただむなしだけなのです。

法話のコーナーでは、新潟教区内の本願派布教使の方々に原稿を依頼しております。

○今後の予定 ご関係の皆様、多くのご参拝、ご参加をお待ちしております。

・第35回千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要

日時 平成27年9月18日(金)13時30分より
会場 国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑(東京都千代田区3番町2)

・寺院仏壮結成に向けた研修会

日時 平成27年10月4日(日)13時30分より
会場 本願寺新潟別院

テーマ 「仏教壮年会活動を通してできること」(仏教壮年会の魅力とは)
講師 眞谷 誠祐 氏(新潟組 林徳寺)

・新潟別院常例法座

日時 平成27年10月9日(金)午前10時30分より
講師 松岡 満雄 氏(本願寺派布教使・東京教区)

・門徒総代研修会(三条組主管)

日時 平成27年10月19日(月)〜20日(火)
会場 湯田上温泉ホテル小柳
講師 橋本 正信 氏(東京教区 鎌倉組 来恩寺)

・本願寺新潟別院「謝恩講」

日時 平成27年10月23日(金)〜24日(土)
会場 本願寺新潟別院
講師 田子 祐子 氏(本願寺派布教使・巻組 一心寺)

洪野 明子 氏(本願寺派布教使・新潟組 金照寺)

・本願寺新潟別院「どんとこいフェスタ」

日時 平成27年10月24日(土)
会場 本願寺新潟別院
内容 法話・ふくい舞さんLIVE・露店出店

・新潟別院常例法座

日時 平成27年11月9日(月)午前10時30分より
講師 長井 順一 氏(本願寺派布教使・国府教区)

ふくい舞 プロフィール



二〇〇八年「アイのうた」(TBS系ドラマ「恋空」主題歌)でデビュー。第41回日本有線大賞新人賞/第50回日本レコード大賞新人賞を受賞。二〇一一年「いくたびの櫻」リリース。第44回日本有線大賞を受賞。二〇一五年ミラノ万博日本館サポーターに任命され応援歌「おいしいもの食べよう」を歌っている。

ラジオ法話

新潟教区布教団による ラジオ法話
FMながあか 80.7
毎週月曜〜金曜 16時15分より放送中です。
(放送地域は、長岡市全域、小千谷市、小国、川口、山古志、出雲崎、寺泊、和島、与板、見附、中之島、板尾)

身元調査 しない させない 許さない